

●総合見本市会館

<p>前回検証結果</p>	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンベンションの質や経済効果向上の観点から、宿泊と連動した施策展開を検討すること。</li> <li>・利用者属性の詳細な分析に基づいた、新規顧客確保のための取組が必要。</li> <li>・新規顧客確保につながるよう、今後の施設改修にあわせ、ロビーをはじめとして、明るい雰囲気への改修を検討すること。</li> </ul>
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンベンション会社や周辺のホテル等との連携を一層強化し、宿泊を伴う学術会議、研修旅行等を新規開拓する取組を実施。</li> <li>・利用状況の推移や利用者アンケート等を継続的に分析し、HPのリニューアルや、メールマガジンの配信による館内貸し会場の空き情報の発信等、利用者が使用しやすいよう様々な取組を実施。</li> <li>・館内飲食提供事業者と連携した利用者サービスを提供するとともに、バス運行事業者への施設利用状況の提供により利用者ニーズに応じた運行を実現。</li> <li>・広告代理店、企画会社及び装飾会社等との間で、新規利用者の斡旋契約締結を進め、毎年営業活動範囲の拡大を図っているほか、類似施設との情報共有を図り、他エリアへの利用者の流出を防ぐことに注力。</li> <li>・館内各所の照明のLED化を順次進めるとともに、利用客からの要望に基づき、館内の複数のトイレをウォシュレット付の洋式トイレへ改修。また、屋外の男性用トイレの新設等順次改修を実施し、リピーターの確保及び新規顧客確保につながる改修を推進。</li> <li>・ホール棟2Fトイレ全面改修(平成27年10月24日供用開始)</li> <li>・屋外トイレ棟男性用トイレ新設等(平成28年3月25日供用開始)</li> </ul>
<p>取組の結果</p>	<p>◇平成29年度の収入及び稼働率は、過去20年で最高を達成。</p> <p>◇令和元年度の新規利用件数は27件。</p>
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<p>◆新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた環境変化への対応と新たな需要の掘り起こし。</p>
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<p>□府内最大の展示場・イベント会場として新型コロナウイルス感染症流行前までは良好な稼働状況であった。京阪神・中京圏、府北部からのアクセスも良く、今後も一層の利活用推進を期待する。</p> <p>□規模と使用目的の特殊性から、多額の改修費用も見込まれるため、詳細な投資計画の立案が望まれる。大規模改修に当たっては事業性を確保できる立地であることから、一部を民間事業者任せ等の検討も含め、柔軟な運営のあり方を検討されたい。</p> <p>□将来の大規模修繕の費用を踏まえ、府からの支援とともに府税投入以外の方法での資金確保も幅広く検討されたい。</p>

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p><b>継続</b></p> <p>◎施設の特徴を生かした営業戦略により、更なる効果的な利活用を図ること。</p> <p>◎老朽化による施設改修も見据え、公的な負担の軽減の観点から、中長期的な戦略を検討すること。</p>
	<p>&lt;今後の対応&gt;</p> <p>○WITHコロナ・POSTコロナ社会における新たなニーズを把握するとともに、今後のイベントのあり方を検討し、一層効果的な利活用を図る。</p> <p>○将来的な大規模修繕に対応するため、戦略的な改修計画を検討する。</p>